

進級、新入園おめでとうございます！新年度早々、登園自粛をお願いする事態になってしまいました。多くのご家庭にご理解、ご協力を頂きまして、本当にありがとうございます。またどうしてもお仕事の都合等で保育を希望されているご家庭には心苦しい思いをさせてしまっていること、大変申し訳なく思っております。

楽しみにしていた入園式も親子遠足も中止にせざるを得ず、先の見えない不安を抱えたなかでの新年度。新型コロナウイルスの感染者は日に日に増加、いったいつになったら終息するのでしょうか…。

登園自粛のお願いのお願いにも書きましたが、少し前まで、「子どもは感染しにくい、感染しても軽症で済む」と言われていましたが、最近では「子どもでも感染のしやすさは成人と変わらない(※)」さらに、「年齢の低い乳児などは注意が必要(※)」というように見解が変わってきました。そのようななか、山梨や福岡で「乳児が重症化」といった報道もありました。(※)は、日本小児科学会 予防接種・感染症対策委員会『新型コロナウイルス感染症に関するQ&A』より

保育園での生活を考えると、4・5歳児であってもですが、特に3歳未満の子どもたちは、1日中おとなしくマスクをつけているのは困難です。自分で念入りに手を洗ったりすることもできません。あれこれ触らないでおこうと自分で気をつけることもなく平気であちこち触ってしまうし、手にしたものを口に入れたり、その手を無意識に鼻や目、口などに入れてしまいます。また、たとえ具合が悪くなくても、自分でうまくその症状を説明できません。さらに、抱っこやおんぶ、食事、着脱、排せつ等の生活面の援助をする保育者とのかかわりだけでなく、子ども同士でもくっつき合って遊んだり、どうしても「濃厚接触」の機会が多くなります。さらに1日の開所時間は11時間以上と長時間に渡って集団で過ごすというように感染リスクが非常に高いなかで日々生活しているのです。

仮に「子どもは感染しても重症化しないことが多い」としても、「感染のしやすさは変わらない」のだとすれば、もし、園内の誰かが感染してしまったら、確実に園内で感染を拡げることになってしまいます。割合は少ないとはいえ、重症化する子どもが出てしまうかもしれません。また、子どもたち自身が重症化することはないとしても、そのウイルスを子どもたちが各家庭に持ち帰って、おうちの方々、特に重症化が懸念される高齢者の方、持病を患っている方に拡散してしまうことも十分に考えられるのです。

できることなら、保育園も学校のように「一斉休園」にしたいところですが、学校が休校にできるのは、学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第63条又は学校保健安全法第20条の規定に基づき、臨時に「授業を行わないことができる」又は「学校の全部又は一部の休業を行うことができる」という法律があるからなのです。

保育園には、そうした法律がないため、自治体(わが園の場合、熊本市)の判断となります。しかし基本的に熊本市は、台風だろうとなんだだろうと「園は開けておけ」というスタンスです。(わが園の場合は、園舎が「急傾斜地崩壊危険区域」内に建っているため、園独自の判断で登園自粛をお願いすることがありますが…)

また「一斉休園」が難しいのは、そもそも保育園を利用しているご家庭は、基本的に「共働きのご家庭」であり、「家で子どもを見ることができない」ことが前提だからです。小学校の低学年でも難しいのに、保育園児に1人で留守番はさせられませんので…。

今のような状況ですと、医療、介護、警察、消防など、直接人の命にかかわるような職業の方々は、「子どもを預けられないから」といって仕事を休むわけにはいきません。また、農業や漁業などの生産者の方々や、それを届ける物流関係の方々、それらを販売するお店の方々のおかげで、私たちは毎日食事をしたり日常生活ができています。そうやって考えていくとあらゆるお仕事の方々、いろいろな形で社会を支えて下さっているわけですから、簡単に仕事を休めないのもわかります。ある意味、「保育園はそうしたあらゆるお仕事をされているご家庭のお子さんを預かることで間接的に社会を支えている」とも言えるのです。国や自治体が保育園への休園要請をなかなか出せない事情はここにあります。そこは重々承知の上で、それでも今回は「命」を最優先に考え、少しでも感染のリスクを下げる目的で、登園自粛を強くお願いすることにしました。

保育園の職員も、本音を言えば、新型コロナウイルスが怖いのです。自分が感染することももちろん怖いのです。でも、それ以上に、万が一、自分や園の子どもたちが、自分でも気付かないうちに感染源となってしまって、おうちの方々、特にご高齢のおじいちゃん、おばあちゃんや病気を患っておられる方と同居されているご家庭にまで拡げてしまったらと考えると、その不安でいっぱいなのです。

この数日は、多くのご家庭のご協力により、登園する子どもの数が少ないため、できるだけ「3つの密」が重ならないように、外でご飯を食べたり、お昼寝をしたりしています。手洗いや消毒、マスクなど、出来ることを精一杯行なって感染予防に努めています。

各ご家庭におかれましても、今は、できる限りみんなで外出、移動を控え、急激な感染者の増加を防いで頂きたいと思っております。急激な感染者の増加は医療崩壊を招き、診察すらしてもらえなくなる可能性があるからです。別の病気やケガですら診療が受けられず、助かるものも助からなくなってしまうかもしれません。感染拡大のスピードがゆるやかであれば、たとえ、感染してしまったとしてもみんなが適切な治療を受けることができます。

最前線で新型コロナウイルスと闘って下さっている医療関係の方々には本当に感謝です。また、それぞれのお仕事、立場で社会を支えて下さっている方々にも感謝です。

どうか、不安に押しつぶされず、たとえ身近な方に感染者が出ようとも、お互いを傷つけ合うようなことのないように、みんなでこの局面を乗り越えていきましょう。